

様式 4

令和 6 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

2024 年 8 月 29 日

学 長 殿

所属 部 局 ・ 職 名
(所属 ・ 学年) 人間発達文化学類 ・ 准教授

(学会参加助成の場合は参加者名)

高木修一

助成の区分 (該当するものに○)	学会参加助成 ・学術出版助成・学術論文掲載料等助成
事 業 名	福島大学基金研究推進事業
成 果 の 概 要	8 月 20 日～21 日に開催された 19th Pacific Rim Objective Measurement Symposium において, “Model development to examine the rater severity drift for single rater: Proposal of a new model based on MFRM” という演題で一般発表を行った。 当該発表において, 従来の統計手法では不可能であった評価者が 1 名の場合に評価の厳しさを推定する方法を提案し, その内容について大枠では賛同を得たものと認識している。しかし, 一部の参加者からはこの手法に問題があるとの指摘があった。これは, 統計手法の思想が背景にあるため, 手法の説明や統計手法の背景の説明方法を変えれば, 今後このモデルは十分に実用可能なものとなり, 論文としての発表につなげることが可能であると感じ, 十分な成果が得られたと考えている。 今後, 当該学会の発行するプロシーディングス (実際には論文集), あるいは教育・心理測定系の国際誌に論文を掲載できるよう務める。